



浜松ユネスコ協会

UNESCO HAMAMATSU

ユネスコ会員綱領

- 心の中に平和の守りを固めよう
- 教育・科学・文化の発展に努めよう
- すべての人間の尊厳を重んじよう
- 民族間の疑惑と不信をのぞこう
- 世界を友愛と信頼のきずなで結ぼう

No.179
2022.3.15

発行：浜松ユネスコ協会
 発行人：会長 小島逞壯
 TEL (053) 463-0458
 FAX (053) 463-0458
 編集(広報委員会)阿部行俊

ロシアのプーチン大統領のウクライナ侵攻が始まった。民主主義と自由、基本的人権の尊重に価値を置く者としては、常軌を逸した独裁者プーチンを許すことはできない。ソビエト連邦時代の領土を取り返すという。過去の時を未来に戻すという思考は、もはや狂っているとしか思えない。そして、それと同時に、今回の重い犯罪は、ウクライナの子どもたちに、戦争の種を蒔いたことである。

第12回 私のまちのたからもの展

【会長挨拶】

心に「平和の誓い」を

浜松ユネスコ協会会長 小島逞壯 氏

70数年前の大きな戦争で、浜松の町も破壊され焼け野原となりました。世界の死者は少なくとも八千万人以上、その悲惨な戦争の反省に立って生まれたのがユネスコです。ユネスコの目的は、教育、科学、文化を通して平和をつくることです。

戦争の原因の一つに、西洋の人と東洋の人が、お互いの文明や文化を理解できず、敵意識を持っていたことでした。この「私のまちのたからもの」展は、まずは自分たちの町の良さを知り、偏見をなくし、平和を作っていく、ユネスコの活動です。

平和は、自分の町の良さを知ることから始まります。町には、そこに生きた人々の、血の通った歴史や文化が詰まっています。あなたは、人が愛するふる里を戦争によって破壊することができますか。戦争によって解決するものは何もありますか。

世界の一人一人が「心に平和の誓い」を持つことができれば、世界は変わります。必ず平和に向かって進むと思います。町の歴史を学び、さらに教育や科学、そして文化を高めることが大切です。皆さんで、世界の人々が共に仲良く暮らせる未来を作ってください。(要旨抜粋)

浜松市、湖西市の小中学校39校より、587点の作品応募がありました。作品に込められた子供たちの思いや願いが強く伝わってきます。小学生や中学生だから気付くことができる地域の「たからもの」が多くあります。新鮮な気持ちで共感し、作品の前でしばらく立ち止まってしまう「たからもの展」でした。



浜松市長賞 「歴史あるもの」(西区伊左地町)

浜松市立湖東中学校2年 浅井実穂さん



私が描いた絵は、森の水車公園にある水車小屋です。この水車小屋は、郷土の作詩家清水みのるさんが緑豊かな田園の中で水車がゆったり回る情景を美しく表現した唱歌「森の水車」の発祥の地を記念して復元されたものです。

この公園では、毎年地元の幼稚園や小中学校、高等学校の生徒や音楽活動を行っている同好会の方々など、たくさんの方が参加する水車小屋コンサートが開催されます。公園は美しい歌声や演奏が響き渡り、緑豊かな自然の中で音

楽を楽しむことができます。

私は大人になっても心のふる里と思えるこの場所を大切にしていきたいという思いを込めてこの絵を描きました。今回、この絵を描いたことにより、少しでも多くの人に森の水車公園の良さを伝えることができ、とてもうれしく思います。
(受賞者代表の挨拶より 要旨抜粋)

浜松市長賞 「保泉寺」(西区篠原町)

浜松市立篠原小学校6年 山下颯梧さん



篠原町にある保泉寺の火渡りは、とても迫力があります。行者さんたちがお祈りをした後、大きなたこをあげて、その年の吉凶を占います。今年は「大吉」でした。ほくも、足の裏がやけどしそうなのがまんして、コロナが終わるようをお願いしながら、火の中をわたりました。

(作品コメントより)



左から 山下さん 小島会長 浅井さん

【浜松市副市長挨拶】

地域のたからものを見つけ 豊かな人生を

浜松市副市長 長田繁喜氏

この絵画展は、地域の自然遺産や文化遺産を100年後の子供たちに伝える活動です。そして、戦争のない世界を続けていくために実施されていると聞いています。

審査員の先生から、日ごろ通っている通学路や町並みなどの風景を題材にして、身近なところから宝物を見付けていると聞きました。先程、展示会場で皆さんの作品を見ました。添えてある文章を読むと作品に込められている気持ちがとてもすばらしいと感じました。

この作品展をきっかけに、改めて地域の文化や自然に目を向けて、関心を深めてください。地域で発見した「たからもの」を大切にしながら豊かな人生を歩んでほしいと願っています。
(要旨抜粋)



【浜松市教育長挨拶】

自分らしさを磨き 地域での活躍を願う

浜松市教育長 宮崎 正氏

限られたスペースの中に描かれている、みなさんの伝えたい思いがしっかりと伝わってきました。日頃、何げなく存在する原風景は、見る人によって「温かさ」や「時の流れ」、「地域の記憶」など、感じるものが様々あると思いました。

これからも、このようなすばらしい感性や良いものを感じ取る心を大切にしてほしいと思います。身の回りにある「人、物、こと」の中から、大切なものを感じ取る心や、それを素直に表現する気持ちを今後も磨いてください。また、自分以外の作品からも大切なものを知り、その宝物からいっそう自分らしさも磨いてください。そして、将来、浜松市・湖西市で大いに活躍する人になることを願っています。
(要旨抜粋)



【来賓挨拶】

生きる喜びと地域を育てる使命感

衆議院議員 塩谷 立氏(代理 青島 大氏)

自然や先人の知恵を結集した文化、好奇心に満ちた子供たちの原体験が、未来を担う子供たちの人生に与える影響は、計り知れないものがあります。地域の未来遺産を学ぶことは、ここに生きている喜びや地域を守り、育てようとする使命感につながるものです。コロナ禍による伝統行事や文化が途切れそうな現実は深刻です。文化や歴史に接する機会を生かし、日本の良さや日本人の心を学ぶ機会にしてほしいと思います。
(一部抜粋)



内科・消化器科

西脇医院 院長 西脇雅子

中区和合町176-58 ☎ <053> 412-5355

西遠は「未来を拓く女性」を育てます。

伝統の中高一貫教育/地域唯一の女子教育/新しい課題探究型学習

入学相談は随時受け付けております。

パンフレットでは伝えられない学園の雰囲気是非御覧ください。



静岡県西遠女子学園 中学校・高等学校

TEL:053-461-0374 WEB:www.seien.ed.jp

【指導講評】

自分の心のフィルターを通して 強く素直に表現

浜松市在住美術家 平賀卓也 氏

このコンクールは、私たちの地域に多くの財産があるということを教えてくれます。今回は、絵の構成の優れたものを絵の主題と合わせて審査しました。

実際の風景を目の前にして、体験したことや感じたことを自分の心のフィルターを通して、「広く知ってほしい。伝えたい。」という願いに変えて、強く素直に表現された作品が上位賞に選ばれました。

人はいつごろから絵を描くようになったのでしょうか。「狩りの収穫を願う」「子孫へのメッセージ」「仲間とのコミュニケーション」のために描いたのではないかと思います。

人は、どのようなときも「心に思うこと」「目の前にあること」を描こうとします。感じたことを音楽やダンスで表現します。ときには、言葉で伝えきれない感動を与えてくれるときがあるということです。皆さんの描く絵も同じです。



(要旨抜粋)

2021年度「私のまちのたからもの」受賞者

賞	学校名	学年	氏名	題名
浜松市長賞	浜松市立湖東中学校	2	浅井 実穂	歴史あるもの
浜松市長賞	浜松市立篠原小学校	6	山下 颯梧	保泉寺の火渡り
静岡県教育長賞	浜松市立東陽中学校	3	川口 喜乃	トンネルの向こう
静岡県教育長賞	浜松市立双葉小学校	5	安藤 楓香	子育て地藏尊
浜松市教育長賞	浜松市立湖東中学校	3	高須 彩華	夕方のバス停
浜松市教育長賞	浜松市立白脇小学校	5	澤柳 水希	未来も誇ることのできる聖地へ
文化振興賞	浜松市立南部中学校	2	澤柳 帆花	花咲き誇る自慢の浜松
文化振興賞	浜松市立広沢小学校	5	竹内 碧泉	オーケストラのお客さん
浜松商工会議所会頭賞	浜松市立北浜中学校	3	宮地 冴瑛	憩いの公園
浜松商工会議所会頭賞	浜松市立笠井小学校	4	森田ひかり	笠井観音だるま市
浜松ユネスコ協会会長賞	浜松市立湖東中学校	3	山崎 莉穂	今、この時
浜松ユネスコ協会会長賞	浜松市立富塚西小学校	6	三浦 菜月	リスのいる風景
静岡新聞社・静岡放送賞	浜松市立東陽中学校	3	菱田もみじ	夏光 熊野神社
静岡新聞社・静岡放送賞	浜松市立蒲小学校	5	清水俐衣奈	桜と浜松城
中日新聞東海本社賞	浜松市立東陽中学校	1	牧田光太郎	津波避難タワー
中日新聞東海本社賞	浜松市立広沢小学校	5	檜山 惣一	旧東海道の松並木
中区長賞	浜松市立北部中学校	3	林 優花	思い出の公園
中区長賞	浜松市立富塚西小学校	4	宮野 敦矢	富塚厄除観音・両光寺
東区長賞	浜松市立丸塚中学校	1	古橋 花梨	守り続けたい場所
東区長賞	浜松市立笠井小学校	5	長谷川揮才	笠井祭り
西区長賞	浜松市立湖東中学校	3	伊藤あさひ	船と浜名湖

賞	学校名	学年	氏名	題名
西区長賞	浜松市立入野小学校	6	竹内 むぎ	弁天島海浜公園の鳥居
南区長賞	浜松市立東陽中学校	2	佐藤 美晴	普門寺
南区長賞	浜松市立気賀小学校	6	藤田 翔也	「揚がれ大風」浜松まつり
北区長賞	浜松市立都田中学校	2	寺田 彩那	自然と共に生きる
北区長賞	浜松市立気賀小学校	6	鶴見 琴音	思い出の都田川堤防、桜並木
浜北区長賞	浜松市立北浜中学校	2	阿知波メイ	小さな神社
浜北区長賞	浜松市立北浜南小学校	6	田中 花笑	遠州大念仏
天竜区長賞	浜松市立南部中学校	1	佐藤 輝	春野の天然ヤシオ
天竜区長賞	浜松市立広沢小学校	5	加藤 ゆり	秋野不矩美術館

学校賞



浜松市立湖東中学校



浜松市立笠井小学校

第5回ユネスコ科学教室 郷土の自然史 天竜川と岩石
知性や感性を磨く河原の石
 10月16日(土) 於：天竜川(西鹿島)



新型コロナウイルス感染予防のため、昼食を取りやめて午前中のみの活動としました。

まず、採集する10種類の岩石の成り立ちや特徴の説明をしました。

とはいえ、形や大きさまで考えると全く同じものは2つとないのが岩石です。そのうえ、天竜川の河原には採集目標の10種以外にもたくさんの種類があります。特徴がつかみやすい岩石から探していきますが、採集が進むにつれて分類が難しくなっていきます。10種類全てを見付け、標本

が完成したときの子供たちの表情には、達成感、満足感が感じられます。

ところが、標本が完成した子供たちの多くは、休む間もなく岩石を拾って観察し始めます。「もっと良い標本にしよう。」「集めなかった岩石も面白そう。」「といった様々なことが想像されます。その根底には、「分類の視点が身につくと岩石との出会いが楽しくなること」、「河原の石には自然の造形物のもつ美しさがあること」などがあると思われま

す。「他山の石」という言葉があり、石は磨く道具に例えられます。子供たちが「河原の石」で知性や感性を磨いてくれることを期待しています。

(竹内孝夫)



第6回ユネスコ科学教室 秋の自然観察 木の実探索 ドングリを見つめ 比較し 分類する

11月3日(水) 於：佐鳴湖公園



今回の科学教室では、ドングリを集め、堅果や殻斗、葉を比較して違いを見付け、分類する力を付けることを目指しています。集めたドングリは、マテバシイ、シリブカガシ、スタジイなど8種類です。

同じブナ科でも属が違えば特徴も違ってきます。例えば「シリブカガシ」は「カシ」の名が付いていますが、殻斗の付き方は「マテバシイ属」の仲間であることが分かります。

また、アラカシとシラカシも堅果の先や葉を実際に比べることで違いを見付けることができました。

他にも、イロハカエデ、コハウチワカエデ、メタセコイア、アキニレ、ヘクソカズラ、ヤマノイモのむかごなども観察できました。

最後には、一つの入れ物にごちゃ混ぜになった堅果から、一つ一つ種類を同定する活動をしました。子供たちは真剣なまなざしで、自分が採集した標本と見比べながら取り組んでいました。

(石塚稚人)



第7回ユネスコ科学教室 神秘的な星の世界をのぞこう 将来につながる 体験での感動

12月18日(土)・25日(土) 於：浜松市天文台

コロナ禍の影響で宿泊を取り止め、密集を避けるために2回に分散して実施をしました。

月は満月に近かったため、望遠鏡や双眼鏡で見ると眩しくて目が痛くなるほどの明るさです。街明かりが多い現代では気になりませんが、昔は月の明かりによる生活への影響は大きかったことでしょう。月の模様やクレーターから広がる光条(こうじょう)も観察できました。



木星は子供たちに人気のある天体です。望遠鏡を使うと縞模様やガリレオ衛星を見ることができます。その他に、アンドロメダ銀河やプレアデス星団（すばる）、M42（オリオン大星団）などを観望することができました。「渦を巻くアンドロメダ銀河」「赤い鳥が羽を広げたようなオリオン大星雲」と写真のようには見えませんが、遙か彼方からやってきた光が、今、自分の目に届いていると考えると神秘を感じます。

神秘的な星の世界をのぞいて、何か感じるがあったと思います。美しさ、不思議さ、疑問、壮大過ぎる驚き…。子供のころのこのような感動がきっかけで、天文学を学び、研究者となっている人も多いそうです。今でも、その感動が研究を進めるエネルギーになっているそうです。（阿部行俊）

2021年度 ユネスコ科学教室 閉講にあたり

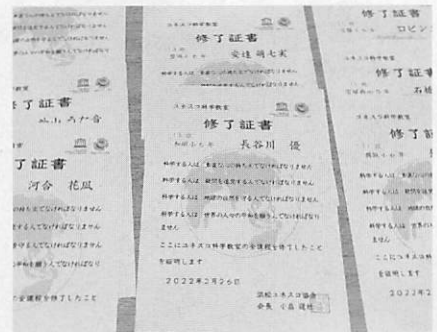
コロナ禍のため、一堂に会しての閉講式ができませんでしたので、書面にて閉講の挨拶をし、順次、修了証書をお渡ししました。

浜松ユネスコ協会副会長 安藤隆敏 氏

本年度は、新型コロナウイルスに振り回されたと同時に「医療の科学」に注目が集まりました。ワクチンや薬、マスク、検査キットなど、日本の医療体制が遅れているのを痛感させられたことも事実です。

浜松で小学生対象のユネスコ科学教室が生まれて33回目です。これまでの修了生は皆さんを合わせると、3,956人となります。

さて、本年度のノーベル物理学賞を受賞した真鍋淑郎さんの言葉を紹介します。今では常識となっている「大気中の二酸化炭素が増えると地表の温度が上昇する。」ということ



修了証書



記念樹の木の実を親子で選ぶ

コンピューターにより、世界で初めて数値で示しました。当時、「世界で最もよくスーパーコンピューターを使う男」と呼ばれていましたが、「自然は無限に複雑。複雑さを競ったらスーパーコンピューターでも勝てない。それをいかに単純化するか、本質をどうつかまえるか。生け花のようなバランスが大事だ。」と語っていました。ますます、自然に対して「科学する心」が重要です。

お渡しした修了証書の「科学する人の心構え」を今後の生活の中でも、ますます発揮してください。そして、人とのつながりを大切にして、よりよい自分づくりを進めてください。

印刷のエキスパート
株式会社開明堂
 TEL <053> 471-6231 (代) FAX 473-0778

遠州鉄道グループ
ホテルコンコルド浜松

第3回晩秋の親子公園探検隊 親子で自然に浸る

11月27日(土) 於：浜松城公園

今秋は台風が少なかった影響か、例年以上に多くの木の実を見付けることができました。どんぐりの仲間では、アラカシ、シラカシ、コナラ、アベマキなど8種類を見付けました。どんぐりは、堅果だけでなく殻斗や葉、樹皮の様子も観察すると種類が分かります。いろいろな種類があることを知った子供たちは、じっくり観察して「アラカシとシラカシのどんぐりは似ているけど葉が違うね。」「スタジイの殻斗はバナナの皮みたいだね。」と、気付くことを楽しんでいました。

保護者の方々から、「イチヨウの葉はこんなにきれいだったのですね。」「この面白い形の実は何ですか。」と、子供たちにも負けない好奇心が伝わってきました。

親も童心に帰り、子供と共に自然に浸る。それが、親子公園探検隊のよさの一つだと思います。秋晴れの浜松城公園で、大変有意義な活動ができました。(池内 伸彰)



あなたも一緒に
会員募集
問い合わせ・申し込み
事務局 三輪 宜弘
■ 053-425-8643

会員動向 会員数 (2022.3.6現在)

賛助	法人	維持	理事
29	1	4	40
普通	学生	合計	
42	0	116	



※再生紙を使用しています。